

皇 學 館 学 園 報

第29号

発行・編集
学校法人皇學館(総務課) TEL0596・22・6308
伊勢学舎 [法人本部・大学院・専攻科・文学部・]
教育学部・現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地
TEL0596・22・0201(代) FAX0596・27・1704
名張学舎 [大学院・社会福祉学部]
〒518-0498 三重県名張市春日丘7番町1番地
TEL0595・61・3351(代) FAX0595・61・3350
高等学校・中学校 三重県伊勢市楠町138
【高校】〒516-8577 TEL0596・22・0205(代)
【中学】〒516-8588 TEL0596・23・1398(代)

●今号の注目記事

1面
最後の皇名祭、思いを結集

2面
教育エキスポ2010を開催

3面
デンソー特別顧問・石丸典生氏が講演

4・5面
学生責任編集ページ
中国人留学生が見た日本

6面
高校・中学
修学旅行、無事に終了

7面
三重學士会寮歌祭を開催

8面
公立学校教員採用試験
49名が現役合格

●連載

2面
皇學館人物列伝⑩ 平田貫一

3面
リレーエッセイ 私の学生時代
加茂正典(神道研究所教授)

7面
先輩、お元気ですか
高田 明氏
(国史学科第9期・昭和49年卒)

最後の皇名祭、思いを結集



市民と学生によるフラダンスクラブ「ハワイラヴァーズ」が日頃の成果を披露。

第十三回皇名祭が開催された十月二十三日と二十四日、名張・春日の丘には例年を上回る約四千人が訪れ、賑やかな祭典となった。

地域密着型イベントを企画

第十三回 皇名祭

秋恒例の学園祭が両学舎で行われた。来年四月、名張学舎は伊勢学舎に統合されるため、皇名祭が開かれるのは今年で最後。その締めくくりにふさわしく、「テーマ「結」のもと地元との協働イベントや伊勢学舎との交流企画が催され、例年以上に大きな盛り上がりを見た。

惜しむ声相次ぐ

期間中、地元と連携した企画のほか女性ユニット「LOVE」によるアーティストライブなど多彩なイベントが目白押し。のび太くん役の声優・小原乃梨子さんの講演では開場前から入口に長蛇の列ができ、関心の高さがうかがわれた。

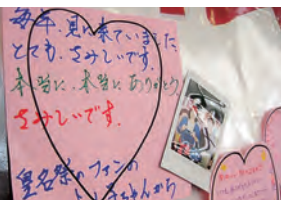
第四十九回 倉陵祭

多彩なイベントがめじろおし

十月二十九日から三十一日までの三日間、伊勢学舎では第四十九回倉陵祭が行われた。

初日には恒例の樽神輿が巡幸。二日目の三十日は台風14号の影響を受け一部予定を変更したが、最終日は、前日の分を取り戻すかのように活気にあふれるイベントが催された。人気だったのは、

といった八つの外部団体からの出展も実現。奥坊さんは「伊勢に行っても決してつながりが断たれるわけじゃない。地域の人々と今までに培ってきた絆、つながりをこれからも大事にしたい」と話した。



メッセージボードには市民から多くの温かいコメントが寄せられた。



艶やかに演舞するよさこい部「雅」。



地産地消のオリジナル弁当

新学長に清水 潔教授

十月二十八日に開かれた理事会において、平成二十三年三月に任期満了となる伴五十嗣郎学長の後任に文学部長の清水潔教授が選ばれた。

清水教授は満六十二歳。本学大学院文学研究科修士課程国史学専攻修了後、文学部助手や史料編纂所助教授などを経て、平成四年には文学部教授に就任した。その後、学生部長や文学部長など重職に就き現在に至る。任期は平成二十三年四月から四年間。



職歴(抜粋)	
S48.4	皇學館大学文学部助手
S58.4	皇學館大学史料編纂所助教授
H3.4	皇學館大学史料編纂所教授
H4.4	皇學館大学文学部教授
H9.4	皇學館大学神道研究所所長
H13.4	皇學館大学学生寮主任
H15.4	皇學館大学史料編纂所所長
H17.4	皇學館大学学生部長
H17.4	学校法人皇學館評議員
H19.4	皇學館大学文学部長
H19.4	学校法人皇學館理事

お茶会やおぼけ屋敷など。「食と日本人の智慧」をテーマに東京農業大学を巡る。二日目の三十日は台風14号の影響を受け一部予定を変更したが、最終日は、前日の分を取り戻すかのように活気にあふれるイベントが催された。人気だったのは、

名譽教授で農学者である小泉武夫氏の講演会には、学生や伊勢市民などたくさんの方々が詰め掛けた。

今回初めての取り組みとして、現代日本社会学部・岩崎正彌ゼミの模擬店では、学生たちが企画したオリジナル弁当を販売。米野菜、魚など伊勢近郊で採れた材料のみを使った「地産地消弁当」を出し合い、学生食堂(いー菜)との話し合いや生産者の訪問など試行錯誤を経て完成。「他ではないものを」と伊勢うどんを季節の野菜と一緒に盛り揚げにしたり、健康面を考慮してコロケの衣に度会茶を混ぜたり、伊

最後の皇名祭となること、訪れた人からは惜しむ声が続出した。毎年来ていたという名張市の二十代の女性は「屋台が充実していても楽しみにしていたのでも残念。今日は無料のあん

うかがわれた。最後に皇名祭となること、訪れた人からは惜しむ声が続出した。毎年来ていたという名張市の二十代の女性は「屋台が充実していても楽しみにしていたのでも残念。今日は無料のあん

また倉陵会館の一階では、子ども向けのイベントが開催され、多くの家族連れが訪れた。特に人気を集めたのは「不思議の国のアリス」を独自にアレンジした演劇だ。脚本・音響・照明などすべてが学生が担当。わがままなアリスが不思議の国でさまざまな人と出会うことで成長するストーリーで、親切心・助け合うことの大切さを伝えた。

「普段から週一回のボランティアで子どもに接している。今回はその集大成」と話すのは教育学部三年の早川正起さん。劇中にはクイズなども取り入れられ、子どもたちは参加しながら大いに楽しんでいた。



「不思議の国のアリス」の演劇。

た子規の「悟り」という事は如何なる場合にも平気で生きて居る事であった(『病牀六尺』)という言葉に反響する。無事に過ごした、この一年の時に感謝をさげつつ、これからを敬虔な気持ちで迎えたい。それ以上の宿望はあるだろうか。

倉田山 春秋

師走に入り、今年も一年の宿賃を支払う季節になった。さて、如何程の。胸に手を当てると、柴田トヨさんの詩集『くしけなひで』の一節が浮かぶ▼「九十を越えた今／一日一日が／とてもいとおしい／頬をなでる風／友からの電話／訪れてくれる人たち／それぞれが／私に／生きる力を／与えてくれる」。明治44(1911)年生まれ、今年白寿。「柴田さん／なにを考えているの?／ヘルパーさんに／聞かれて／困ってしまった／／今の世の中／まちがっている／正さなければ／／そう思っている／いたからです」▼12月4日に開催された本学教育講演会(四日市市総合会館)は、藤原正彦氏「日本のこれから」。現代の日本人が喪失した自信と誇り、美観の復興と蘇生。「高貴」情緒「形」わび「さび」等、我が国の伝統文化は、世界を牽引する可能性を秘めている▼満34歳で逝った子規の「悟り」という事は如何なる場合にも平気で生きて居る事であった(『病牀六尺』)という言葉に反響する。無事に過ごした、この一年の時に感謝をさげつつ、これからを敬虔な気持ちで迎えたい。それ以上の宿望はあるだろうか。

史學會講演会

「伊藤若冲との出会い」

ジョー・D・プライス夫妻が来校



十一月十八日、本学伊勢学舎二号館において史學會講演会「伊藤若冲との出会い」が開催された。講師はジョー・D・プライス氏とエツコ夫人。氏は江戸中期の画家であった若冲の世界的コレクターとして知られ、近年の若冲再評価のきっかけを作った人物でもある。講演では「THE MAN WHO PAINTED LIGHT—光を描いた男」とのタイトルで放映された番組がまず流され、その後質疑応答の時間があった。

若冲の作品で特筆すべきこととして、プライス氏は次の二点を挙げる。一つは「ネガティブペインティング」という、顔料を用いずに下地の色で色彩を表現する技法だ。「柳に白鷺図屏風」を見ると純白の白鷺は白い絵の具で描かれているのではなく、下地の絹によって陰と奥行きが表されている。もう一つは「自然光の中で観る」こと。江戸時代、伝統的な日本家は障子で仕切られており部屋には最小限の光しか入ってこなかった。そのため、作品は暗い場所で常に変化する太陽光や月光、ろうそくの灯で鑑賞されることを意図しており、見る人は光の変化を楽しむことができたという。実際、若冲の作品は人工灯では見えなかったものが、自然光に変わると後ろに背景が浮かび上がる。

コミュニケーション学科一年の森下菜々美さんは「伊藤若冲のことは知らなかったが、話しがわかりやすくてとても興味が持てた」と話していた。国史学科三年の荒木卓哉君は「人工灯ではなく、自然光の中で見ると本当に奥行きが広がって驚いた」と感想を話していた。

当日は同講演のほか、国文学科では佐藤春夫記念館館長・辻本雄一氏による「春夫、熊野、健次」、コミュニケーション学科では元歴史街道推進協議会海外広報部長・玄道文昭氏による「歴史街道—新しい日本の旅の楽しみ方」、教育学科では伊勢税務署長・田村孔一氏が「IT化・国際化と税をテーマに講演を行い、好評を博した。



展示内容を考えたのは3、4年生のゼミ生たち。いずれも工夫が光る。



パネル展示に見入る学生たち。

学生たちが日頃取り組んでいる研究の成果を発表しようと、「教育エキスポ2010」が十一月四日、体育館アリーナで開催された。一般向けに倉陵祭の期間中行われる予定だったが、台風の影響により延期されこの日改めて催されたものだ。会場には計七十八のパネルがずらり。「幸せ」

七十八のパネルが並ぶ

寸劇など展示に工夫

一人でも多くの学生に見てほしいとの思いから、スライドを使用した寸劇仕立てにしたりと、展示する側の創意工夫も随所に見られた。

中條敦仁ゼミでは会話などの「言語」と身振りや視線などの「非言語」との組み合わせがコミュニケーションにおいて相乗効果を発揮すると発表。〈告白〉のシチュエーショ

ン劇を設定し、来場者の目を引いていた。劇に参加した教育学科二年の古川裕子さんは「目をそらされたまま好きと言われたもピンとこなかった。実際に演じたことで、何かを伝える時は言葉と合致した表情や身振りも大切とわかった」と感想を述べた。



「興味あるゼミばかりで迷います」と山崎君と石川君。

第11回 高校生英語スピーチコンテスト 39名が参加



熱弁を振るう田中さん。

十月二十四日、皇學館大学文学部コミュニケーション学科主催による第十一回高校生英語スピーチコンテストが開催された。今年は三重県内十三の高校より三十九名が参加した。

皇學館大学コミュニケーション学科 校生英語スピーチコンテスト



優勝した田中さん、右が2位の木林さん、左が3位の渡邊さん。

さん（日生学園第二校二年）が優勝した。田中さんはコンテスト終了後、二カ月間、集中して練習した。登場人物への感情移入に苦労したが、本番はうまくいった。将来は、人に何かを伝える仕事に就きたい」と喜びの感想を述べた。なお、第二位に木林観奈さん（飯野高校一年）、第三位に

皇學館 人物列伝 10

平田貫一

ひらた かんいち

念願の大学昇格に向け多大な功績

平田貫一は、明治四十二年に東京帝国大学法科大学政治科を卒業。翌年、高等文官試験に合格し、農商務省に入省。その後、兵庫県産業部長、岐阜県・栃木県・福岡県の内務部長等を経て、昭和五年、第十代神宮皇學館館長に就任した。

昭和十五年に神宮皇學館の大学昇格が実現するとこれを機に勇退、この年新たに創設された近江神宮の初代宮司に就任。また戦後の困難な時期には第四代・第六代神社本庁事務総長をつとめて憲法問題等に取り組みなど、神社界に大きく貢献した。皇學館の再興にも尽くし、昭和三十七年、大学が再興されると初代学長に就任。四十一年、第一回卒業生を



ひらた かんいち ◆明治十六年、鹿児島県生まれ。農商務省・内務省の官僚として勤めた後、昭和五年から十五年まで神宮皇學館館長。館長を退いて以後は、近江神宮宮司となる。宮司在職中、昭和二十八年と三十年の両度にわたって神社本庁事務総長に指名され、昭和三十七年に再興された皇學館大学の初代学長にも就任。一八八三—一九七一。

社会に送り出して、学長職、また近江神宮の宮司を退いた。平田貫一は教育観に大きな影響を与えたのは、大正十二年から十三年にかけての英国視察であった。ケンブリッジ大学では、十七のカレッジがいずれも礼拝堂を有し、学生が週一度必ず礼拝に出席すべきことを定めるなどして宗教心を涵養し、精神的教育に資していた。またあるいは、学長や教授の幾人かは学内に居住して寮生活の学生と食事をともにし、学生に対する詳細な規程も定めるなど、訓育に重きが置かれていた。このような英国大学における学生の品行陶冶、厳格な指導に大きな感銘を受けたという。こうした平田貫一の理想が、神宮皇學館の諸改革や再興皇學館大学の学風確立に大きく活かされている。文学部助教 大平和典

京都の老舗で職場体験

就職活動をサポート!

職場体験付講座開催のご報告

就職課＋岩崎正彌 現代日本社会学部准教授

去る八月二日(月)に本学就職課の主催で職場体験付講座第二回「京都の老舗②」が実施された。これは、伝統産業や京都文化に興味のある学生を京都の代表的な老舗企業に案内して、トップの方から講話を承り学生の教養や見聞を広めようというもの。就職への機縁をつくり、各自の就業意欲を高めることを通じて就職活動の支援をめざす。

当日は十名(神道学科・国文学科・現代日本社会学科)の学生が参加。最初の訪問地は創業百六十余年の西陣織「(株)川島織物セルコン」本社工場(市原)で、総務課の多田京子様より精巧な綴織のタペストリーや式年遷宮の御神宝の調製などをご案内いただき、川島織物文化館にて明治宮殿などに納められた美術織物などの貴重な展示品について

解説をいただいた。昼食の後、創業三百余年となる香の老舗「(株)松栄堂」(烏丸二条)へ。畑正高社長より「香と京文化」についてのご講話を賜り、その後、社員の方に香の元となる材料の展示や線香の製造過程、香道のお稽古場利用されている和室の香席などをご案内いただいた。

三番目は創業、百八十余年、「茶ひとつを保つべし」と名づけられた屋号の「(株)一保堂茶舗」(寺町二条)へ。渡邊孝史社長から「茶のお話」、「働くことへの心掛け」などを承り、喫茶スタッフの皆様による玉露や煎茶など

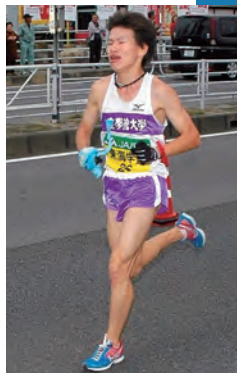


おいしいお茶を堪能する参加者(一保堂)。

「おいしいお茶の淹れ方」の体験講習を受講した。参加者のひとり、現代

初挑戦の小野君が力走

第四十四回 全日本大学駅伝



4区鈴鹿大橋付近を力走する小野君。(朝日新聞社提供)



上/川島織物では、精巧な織物の製造工程に目を見張った。
下/松栄堂では、芳しい香のかおりにしばし書さを忘れた。

十一月七日に開催された第四十二回全日本大学駅伝対校選手権大会においてオープン参加である東海学連選抜チームの一人に本学の小野郁文君が選ばれ、快走を見せた。任されたのは四区。教員をめぐしている小野君は「子どもたちに『頑張ろう』と思ってもらえるような走りをしたい。そして、全国の選手と走って、

感じたことを仲間伝えた」と思い臨んだという。教育実習などで思うように練習時間が取れなかったが、多い日は四十き走りこみ、十月には一万きで自己最高を上回る三十分五十七秒を記録した。そして迎えた本番当日、走り終えた時には教育実習をした小学

校の児童が「先生」と駆け寄ってくれるなどうれしい出来事も。来年、教員採用試験を控えているため今年限りで引退を決めているが、これまでの集大成となる走りに満足した様子だった。

第4回 現代日本塾

石丸典生氏が講演

デソー特別顧問

九月三十日、伊勢学舎において第四回目となる「現代日本塾」が開催された。講師として壇上に立ったのは(株)デソー特別顧問の石丸典生氏。現代日本社会学科の学生およそ八十名を前に、「二十一世紀を支える者の務め」と題し講演を行った。

講演の中で石丸氏は地球資源は必ず枯渇すると断言。そして、サステイナブル・ディベ

ロップメント(永続的發展)を実現するには「高い生産性の追求」と「自然と人間の共生」に尽きると力説した。そして、学生には自分の行動をこの二つと常に照らし合わせて考え

てほしいと要望を語った。同学科一年生の木本瑞穂さんは「世界で飢えている人が八万人いる一方、太りすぎの人が十二万人いるという話にショックを受けた。分かち合うことができればいいのと思う」と感想を話していた。岡山本佳祐君は「今の時代は利益優先よりも互いに助け合うことが大切という話が印象に残った。企業トップの方の言葉だったので、余計に重みがあった」と話していた。



三遊亭栄楽さん お伊勢参り落語会を開催

十一月二十三日に記念館にて三遊亭栄楽さんの落語会が開かれた。

栄楽さんは、本学国文学科第十九期の卒業生で、三年前より本学の非常勤講師、落語研究会の指導などを行っている。

昨年より、東京・日本橋から伊勢神宮までの四六四きを、手甲に脚絆、わらじがけといった江戸時代の装束で一カ月かけ



熱演する三遊亭栄楽さん。落語会の木戸銭(入場料)は、諸経費を差し引いて神宮へ奉納される。

て歩く「お伊勢参り」を行っている。今年はその道旅の締め括りとなった。前半では、旅のエピソードや「お伊勢参り」のき

っかけなどを講演。生活習慣病をきつかけに歩くようになった栄楽さん。今回の企画は、落語での題材が多いお伊勢参りを実際に体感し、芸に反映しようとする落語の上達をめざしてのことだ。後半には落語の小話や人情話の「阿武松」を披露。栄楽さんは旅を終えて、「道中では人の温かさを改めて感じた。思いやりの大切さを、落語を通して伝えていきたい」と語った。

また落語会の途中には、今年できたばかりの落語研究会のメンバーが大喜利を披露。最初は緊張しつつも、慣れくると軽妙なやり取りで観客の笑いを誘っていた。栄楽さんは「お伊勢参りを、遷宮のある平成二十五年まで続ける予定。



初舞台で緊張した面持の落語研究会メンバー。

私の学生時代

実証研究の重要性を理解

神道研究所 教授 加 茂 正 典
同志社大学大学院修士



論の理論に日本の歴史を当てはめることこそが、唯一の重要研究とする極端な学問傾向が、駆け出し院生の私にも伺えた。

日本の天皇は強大な権力を持ち、人民を駆使するアジアの生産様式に立脚した専制君主と、簡単に喧伝されていたくらいであった。しかし、論文執筆の過程で、厳寒の旧暦十一月下卯の日の夜より翌未明まで齋行される大嘗祭において、素足で大嘗宮に御される天皇には、喧伝されるような天皇像の片鱗すら見出せないことに新鮮な驚きを感じ、また、史料に立脚した実証研究の重要性を再認識した。

同志社で学び得たことは少なくないが、現在でも時にふれ脳裏に浮かぶ言葉の一つとして、新島襄の生徒宛書簡の一節「良心ノ全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ」がある。この言葉を思うたびに、私は「良心ノ全身ニ充滿シタル丈夫」であろうかと自問し、忸怩たる思いを禁じることができないのが情けない。

わたしの
ふるさと自慢

留学生に郷土の自然や文化、味を紹介していただきました。



名物・羊肉の火鍋。



中国5000年の味。料理しないものはないと言う程。



小麦の饅頭は主食として。



棗(なつめ)は滋養強壮食品。

河南省

◆自慢できることがいっぱい

ふるさととは河南省ですが、日本へ留学するために町を出た後は、中国のすべてがわたしの故郷と思いました。中国は長い歴史があり、めざましい経済発展を遂げています。輝ける5千年の歴史、きれいな風景、元気な中国人…自慢できることがいっぱいです。

(陳飛)

鄭州市(河南省)

◆杜甫、白居易らを輩出

河南省の省都として、また、中国の八大古都の一つとして、鄭州は近代的な先進性と伝統的な文化を同時に持っている美しい都市です。鄭州には古代・商王朝の都とされる遺跡「商城」があるほか、詩人の杜甫や白居易の輩出地、千年古刹である少林寺の存在でも世界的に有名です。「烩面」は代表的な鄭州の味として、みんなに好まれています。

(曹若愚)

開封市(河南省)

◆美食の天国

わたしのふるさは開封という町です。開封は中国でも最も歴史が古い都市のひとつで、北宋の首都でもありました。現在でも当時の雰囲気包まれており、どこに行っても昔の建物が見られ

黄河は近い

活気のある夜市

ます。ほかに有名なのは「鼓楼夜市」という夜に開いている市場。この市ではさまざまな料理が売られていて、開封人が好きな蒸し煮黄魚やワンタン、餃子詰めパン蒸しとまるで美食天国です。特産品のビーナッツから作るお菓子も本当においしいですよ。

(呂萌)

安陽市(河南省)

◆文化旧跡がいっぱい

わたしは河南省安陽市内黄県(日本は県市町の順ですが、中国は省市県です)の出身です。安陽市には3300年前の遺跡「殷墟」があり、世界遺産にも登録されました。甲骨文字の発祥地でもあり、曹操の墓や岳飛廟など文化旧跡もいっぱいです。また、棗が有名なことから、襄郷という別名があり、わたしにとって懐かしい響きです。

(史淑明)

洛陽市(河南省)

◆牡丹が有名

わたしのふるさは洛陽市です。河南省は中国で人口が一番多い省で、1億人超。河南人は非常にもてなすことが好きで、日本人が河南省に行ったら人々はきっと親切に接待すると思います。そして、古来から「洛陽の牡丹、天下に甲たり」といわれてきたように、牡丹でも名を馳せています。牡丹は中国の伝統的な名花で、花見は洛陽人の伝統的な風俗です。毎年4月15日から5月10日まで、まちの各牡丹園内で花見が開催されます。

(黄鶴)

龍門石窟(洛陽)

大相國寺(開封)

濮陽市(河南省)

◆竜の故郷

1987年、ふるさとの濮陽で竜の絵が描かれた墓が発見されました。約6400年前のものといわれています。以来、「竜の故郷」と呼ばれています。古代の中国では重要拠点だったそうです。

(霍会寧)

◆快適な町ベスト5

濮陽市の出身です。濮水の北にあるので「濮陽」と呼ばれています(中国では「山南水北は陽」という言い方があります)。濮陽市は北京や上海のような大都市ではないですが、きれいな町です。しかも、中国で最も快適な町のベスト5にも選ばれました。名所は「倉頡陵」などの旧跡のほかに「綠色莊園」という遊園地、名物にはラー油もあります。機会があったら、みなさんにわたしのふるさとへ遊びに来てほしいと思います。

(杜俊玲)

新郷市(河南省)

◆郷土料理の「紅燜羊肉」が絶品

広い平原のある河南省は中国の中部に位置していて、昔から「中原」と呼ばれています。「得中原者得天下」(中原を手に入れたら、天下も手に入る)という言葉もあるほど、重要な場所なんですよ。生まれ育った新郷は河南の北部にあり、「牧野大地」と呼ばれます。5千年以上の歴史があり、遺跡がたくさんあります。「紅燜羊肉」は自慢の郷土料理でとても人気のある鍋。熱くて辛味のあるスープにごろんとした羊肉がたっぷり入っています。

(王娜娜)

◆生活がしやすいまち

生まれ育った町・新郷は大都市ではありませんが、大変過ごしやすいところだと思います。「紅燜羊肉」や「烩面」は特色豊かな郷土の味として好評です。値段は高くないので、誰でも賞味できますよ。特産品もいくつかあり、「牛忠喜焼餅」や「原陽の米」はよく知られています。「烩面」は焼餅ですが、外側は硬く中は塩っ

ばい味です。一般市民にとっても欠かせない味です。ほかに、風景など紹介できるところがたくさんあって、これ以上好きな町はありません。(可靖涵)

許昌市(河南省)

◆三国志ファンにおすすめ

わたしが生まれたのは許昌という小さな町です。『三国志』では曹操が都にしようとしていました。関羽が曹操に幽閉された時に住んだという「春秋樓」は今も残っているので、『三国志』が大好きな方はぜひ行ってみたいです。おいしい食べ物もたくさんありますよ。とくに「火鍋」は有名で夏でも席が取れないほど人気です。中国では豚肉や牛肉、鶏肉のほかに羊肉まで鍋に入れます。羊の肉は脂っぽくないし口当たりもよく、一度は食べてほしいです。〆は「烩面」がおすすめです。

(楊也)

駐馬店市(河南省)

◆懐かしい場所

大学までずっとふるさとで生活していました。河南省の駐馬店という町でわたしにとって一番懐かしい場所です。河南省にくる旅行客の多くが訪れる嶺山もあって、とても楽しいところです。霧の名所としても有名です。

(趙丹)

南陽市(河南省)

◆山水秀麗の景色が有名

わたしのふるさである南陽市西峡県は文化的な気風が色濃く漂っているまち。軍師の諸葛孔明や地震計の発明者である張衡、「医聖」と讃えられた張機(張仲景)など多くの有名人を輩出しています。西峡県はアウトドアの観光地として人気で、とくにラフティングはアドベンチャー性が高いと評判。近年は恐竜化石がたくさん発掘されて世界を驚かせました。「世界九大奇跡」として専門家や研究者も多く足を運んでいます。「西峡世界恐竜博物館」は一見の価値ありですよ!

(杜媛媛)

クローズアップゼミ 研究室探訪10

コミュニケーション学科 講師
前田至剛ゼミ

「世間には、()といえ、直ちに悪影響を与えるものとする人も少なくない。それが大人に対しても、いかに強い刺激を与えるかを考えてみよ。まして、思春期に達した青少年には、どれくらい強い刺激となり、誘引となるかは想像にあまりある。()については、複雑な問題があって、それらが直接・間接に少年犯罪に関係を持っている」

上記の括弧内にネットやケータイを入れてみても違和感はありませんが、実際に書かれていたのは「活動写真」(映画)です。この大正12年に出版された『少年犯罪とその予防』(原房孝著、金港堂書籍)の一節を振り返ると、いつの時代も新たなメディアの登場は衝撃的な出来事であったことが分かります。

歴史上、様々なメディアが登場し

情報社会のメディアリテラシー

我々の社会に影響を与え、議論を巻き起こしてきました。ラジオやテレビ、もっと遡れば本というメディアが自力で考えず他人の思考をなぞりがちになるとショーペンハウアーに批判されていたこともありまし

ただし、新たなメディアの普及は、それを推し進める社会と不可分の関係にあります。情報社会において普及したネットやケータイというメディアは、高度に機能分化し、多様な領域を渡り歩きつつ生きる我々が取り結ぶ、流動的な社会関係を支えています。そこでは益々行為や情報に関する自己選択の範囲は拡大すると同時に、その責任を負うべきとみなされています。ゼミではメディアの効用と問題点をふまえつつ、情報社会を生き抜く上で求められるメディアリテラシーを養成しています。

Q1 日本のここが**好き**

**空気や町が
きれいなところ。**(杜俊玲・曹若愚)

日本のお店では店員に聞くと必ずちゃんと説明してくれて、
何度か繰り返し尋ねてもずっと笑顔でいてくれます。

さすが「世界一のサービス業」の国
だと思います。(王娜娜)

**スーパーや料理店の
店員がみんな優しく
親切にしてくれる。**

気分が良くなるというレベルを超え、
感動すら覚える。(曹若愚)

買い物をする時、
日本人はいつも親切にしてくれる。(黄鶴)

**自然の美しさと
便利な生活環境。**

(楊也・可靖涵・杜媛媛)

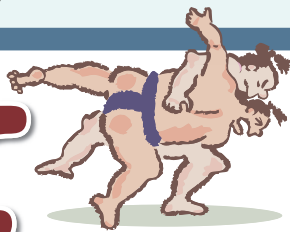
緑がいっぱい。
景色のいいところが多い。
(翟会寧)

ヘルシーな日本食。
和菓子・洋菓子は超美味。
刺身はすごく新鮮で
好物になった。(楊也・王娜娜)

**日本人の
真面目さと思いやり。**
日本人はどんなに細かいことでも他人の
ために考えて行動するということを感じま
した。とても感心しています。(史淑明)

**日本人の
真面目に勉強や仕事
をする態度。**(陳飛・杜媛媛)

**日本人が
いつも礼儀を重んじ、
マナーを守るところ。**
(呂萌)



中国人留学生に
聞きました

日本って どんな国?!

今回は本学に在学する中国人留学生12名にアンケート! 暮らしの中
で感じた日本や日本人の不思議なところ、長所や短所などを伺いま
した。普段の何気ない言動や光景が留学生にはどう映っているのか。
日本の新たな一面を知るきっかけになるかもしれません。

Q4 日本のここが**不思議**

トイレが綺麗。臭わない。
(趙丹)

ドラマのクールが
中国や韓国より
ずっと短い。
(史淑明)

**寒い冬でもスカート
をはいている女の子が
いっぱいいること。**
寒くないのかな?(王娜娜・呂萌・黄鶴・曹若愚)

中学生や高校生が
みんな制服を着ている。
カバンも同じ。(曹若愚)

個人主義。
(杜俊玲)

**古い建築物
が残っているところ。**(陳飛)

大学の食堂で勉強すること。
(黄鶴)

婉曲な言葉遣いをする人が多く、時々
相手が本当に伝えたいメッセージに
気付かないことがある。(曹若愚)

**知らない人と
挨拶をする。**
(翟会寧)

**女の子が
みんなおしゃれ
で雑誌やテレビから出てきた
みたい。**(王娜娜)

老若男女問わずおしゃれ。
**女子がみんな化粧を
している。**(杜嬌嬌)

**果物の価格
がすごく高い。**(可靖涵)

高校生でも結婚でき
ると聞いた。(楊也)

Q2 日本のここが**ヘン**

時と場合によって
よそよそしい態度
になるところ。(史淑明)

**女性でも
タバコを吸う人
がいる。**(翟会寧)

多くの女の子が
内股で歩く。
(曹若愚)

物価が高い!

とくに交通費は高すぎると思う。
(王娜娜・陳飛)

中国では昼寝の習慣があるのですが、
日本にはないです。
昼休まないと午後は眠くなりやすいと思うのですが。
(黄鶴・呂萌)

**サンダルで
学校に来るところ。**
(可靖涵)

**伊勢の祭りで
着られている衣装(法被)**
は今までに見たことがなく驚いた。(趙丹)

Q3 日本のここが**スゴイ**

**人にやさしい設計
の施設が多い。**(曹若愚)

**電車が
時刻通り。**
時間を守る観念が
強い。(曹若愚)

**自動販売機
がいたるところにある。**
(曹若愚)

**中古品は安いのに
新品みたい。**
(曹若愚)

交通が便利。
(趙丹)

**みんなが社会のルールを
ちゃんと守るところ。**(翟会寧)

**70、80歳代の
高齢者**が
とても若々しくて
元気。(楊也)

**ゴミの分別が
徹底している。**
(可靖涵・杜俊玲)

**学校の研修旅行
がスゴイ**と思います。
みんなと一緒に旅行すれば
連帯感も強くなり視野が広が
ると思います。(王娜娜)

編集部より

中国人留学生が見たニッポン。みなさんはどんな感想を
持ちましたか? 店員の態度など、日本人には当たり前
のことでも留学生にとっては新鮮に映るようです。とも
すれば忘れられがちな日本の美德をいつまでも守り伝え
ていきたいものですね。

修学旅行、無事に終了



右上／晴れわたった摩周湖
右下／ジンギスカン
一さて味の方は？
左／アイヌコタンゲート前



十月二日から十月六日にかけて今年も北海道への修学旅行が実施された。空便の都合で早朝に伊勢を出発した一行は四泊五日の日程を大過なく過ごし、十月六日夕刻伊勢に戻った。行程的には工事のため訪れることができなかった札幌の藻岩山に代わり、旭山展望台から札幌市内の夜景を楽しんだこと、新たに知床五湖がコースに加わったことを除

けば、ほぼ例年通りとなった。計らいで、元島民の方から直接体験談を聞いたり、説明を受けたたりするなどして、生徒たちは全員事前に学習していた北方領土問題を自分自身の目で検証した。同時に領土問題の解決の重要性と問題解決の困難さを改めて実感した。数カ月間にわたる事前研修、事前指導を通じ多くの事柄を学習し、修学旅行の持つ意義は

博物館学習を通じて

伝統・文化を学習

十月二十六日、一年生を対象に博物館学習が実施された。博物館学習は総合学習の一環として毎年、年三回一年生を対象に実施されるもので、今年も①斎宮歴史博物館②神宮徴古館及び関係施設③皇學館大学神道博物館をそれぞれ対象クルスの生徒が巡った。



元島民の方より北方領土の説明を受ける。

皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業 寄付者芳名

皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業募金活動は、十九年六月、正式にスタートいたしました。これは、募財活動の中心を「生徒の教育活動支援」に置いているものであります。十月三十一日現在の募金状況は、次の通りとなっております。ご協力いただいた皆さまのご理解に感謝申し上げますと同時に、今後のご賛同・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓会会員

三重県 五千円 山際 正志様

後援会賛助会員

三重県 四万円「三万円増額」 橋本 和久様

皇學館高等学校創立50周年・皇學館中学校創立35周年記念事業寄付金進捗状況 平成22年10月31日現在

区分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗教界	2	150,000	150,000
企業	41	4,190,000	4,130,000
一般 (旧教職員・篤志家等)	15	425,000	425,000
同窓会会員	148	6,831,000	6,831,000
後援会賛助会員	63	1,085,000	1,085,000
本法人関係	125	3,685,000	3,635,000
合計	394	16,366,000	16,256,000

十分理解したようだ。そして級友たちと寝食を共にしたこと、新しい友人関係も築き上げたようである。五日間という行程中、学年全体が一つの集団としてまとまって行動すること、時には個人行動を控えるという不自由さはあっても、集団行動を優先することの大切さというものを再認識できたことの意義は大きい。修学旅行は、単に楽しいものというだけでなく、自身の更なる人間的成長という点でかけがえの無い機会を与えてくれる。そして旅行を通じて学んだことは自身の人生において大きな糧となる。生徒たちは修学旅行の思い出と共にその意義を学んだようであった。

皇 中 NEWS



国際通りで買い物三昧。

沖縄へ二泊三日の修学旅行

十一月二十三日から二泊三日で、三年生の沖縄修学旅行が実施された。初日、飛行機と渋滞でのバスの遅延により行程が少しずれたが、平和の礎・平和祈念資料館を予定通りに見学した。二日目以降は、各自が時間厳守で行動できたため順調に

行程は進んだ。美ら海水族館は午前中見学だったので、例年より混雑が少なく余裕を持って見学することができた。巨大な水槽の中で悠々と泳ぐジンベエザメやマンタの姿に歓声があがった。その後、むら咲き村での体験学習はクラスポート、ドラゴンポート、紅芋掘り、シエルアート、ストラップ・プレスレット作りに分かれた。紅芋掘りグルー

プは沖縄らしい陽気に汗ばみながら取り組んだ。国際通りの自由行動でも生徒たちは大変充実した時間を過ごした。三日目、まず波之上宮で正式参拝を行った後に守礼門、首里城を見学し文化や歴史に触れ、沖縄の地を離れた。帰りの機中では疲れも見られませんが、六十二名全員で思い出に残る充実した三日間を過ごしたようであった。

平成二十二年 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会
伊勢市の中学校が集まって歌や演奏を楽しむ連合音楽演劇発表会が伊勢市観光文化会館で行われた。今年も本校は一年生と合唱同好会の生徒が出演した。発表曲は皇中祭でも発表した「ラジャ・マハラジャ」と「明日の空へ」の二曲を披露した。一年生らしい歌声と楽しそうに歌う姿に「かわいい」という声が上がった。他校の生徒はほとんど三年生が発表し、中学校生活で培ったその歌声に魅了された。すべての学校の発表が終わると、指揮者の先生に合わせて全学校での大合唱となった。二十分にも渡って行った合唱は大変盛り上がり、幕を下ろした。



全中学校での大合唱

皇 高 NEWS

みんなでつなごう笑顔のバトンを

第三十一回 皇中祭



合唱コンクール(3A 歌い終わりのキメポーズ)。

十一月六日から二日間、第三十一回皇中祭が開催された。大学記念講堂での祭典から始まった。校友会本部二名が生徒代表として堂々と玉串奉奠を行い、二日間の成功を祈った。初日のメインは合唱コンクール。祭典が終了すると、コンクールが始まるまでの間、各クラスが集まりアカペラ練習を行った。二年B組はこの日、担任の安藤里巳先生の誕生日だったこともあり、絶対、先生に優勝をプレゼントするんだ！とすごい熱気に包まれていた。どのクラスも意気込みがすごく感じられ、本番も全体的にレベルの高いものとなった。その後、中学校舎のセミナーホールで南海放送アナウンサーである松岡宏忠さんに講演していただいた。ア

ナウンサーの仕事場や内容について映像で紹介があり、夢は諦めなければ叶うのだということを自身の経験をもとに教えていただいた。二日目のクラス展示は、夏休み前から準備を進めてきたため朝から生徒たちの熱気に包まれた。三Aは男女の役を逆にした「シンデレラ」、Bは石など様々な手作りが施されている「日本庭園」、二Aはワールドツアーをテーマにした「ペーパークラフト」、Bはクラスメートの幼少の頃などの写真から作られた「写真アート」、一年生は独自の劇で、Aは「新撰組」を、Bは「Mステ」を披露した。どのクラスも廊下では呼び込みの声が響いた。サンラウンジでは皇中祭実行委員会による花

販売と募金活動、理科室・美術室では保護者会の方々の協力による軽食販売・保護者会バザー、セミナーホール前ではお茶会と皇中祭の雰囲気より高めた。午後は、皇高生の吹奏楽部によるパフォーマンス有りの楽しい演奏で在校生も先輩たちの姿を見て大変盛り上がった。楽しい時間が終了すると、閉会式・成績発表。今年は合唱コンクールの優勝二B、準優勝二A、クラス展示優勝二A、準優勝二Bであった。宣言通り担任の先生にプレゼントができたこと喜ぶ二Bを中心に歓声が響いた。夏休み前から手がけてきた大イベントが終わりを迎え、その後の後片付けで満足した笑顔がたくさん見られた。

創立一三〇周年・再興五十周年記念事業 寄付者芳名

創立一三〇周年・再興五十周年記念事業募金につきまして、学内外の方々から変わらぬ励ましのお声とともにその後も多くのご芳志をいただきました。みなさまのご理解とご好意に対して心より厚く御礼申し上げます。事業活動の一層の充実をはかるべく、今後ともどうぞよろしく、お願い致します。芳名掲載につきましては、十月三十一日までの到着分とさせていただきます。

創立130周年・再興50周年記念事業寄付金 進捗状況			
平成22年10月31日現在			
区 分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗 教 界	634	776,897,000	765,427,000
館 友	721	79,074,000	76,099,000
篤 志 家	45	31,835,000	31,715,000
夢 の 会	2,028	91,191,000	91,191,000
企 業	104	62,285,000	60,945,000
本法人関係	255	58,222,000	57,937,000
合 計	3,787	1,099,504,000	1,083,314,000

夢の会 保護者の会

文学部神道学科

岡部 政治様
川尻 孝紀様
鷲巣 啓三様
堀 勝則様

社会福祉学部社会福祉学科

個人情報保護に関する法律の施行に伴い「匿名・金額等の掲載を希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。」

訂正とお詫び

前号第28号の寄付者名簿につきまして左記の間違ひがありました。ここに訂正し、お詫びいたします。

博士前期課程国史・学専攻 三万円 片岡 靖正様
博士前期課程神道・学専攻 三万円 片岡 靖正様

希望を追求して

知事トークinキャンパス



講演後の質疑応答では教育や就職状況、新しい県立博物館のことなど幅広い内容の質問が相次ぎ、学生が県政に強い関心を持っていることがわかった。



レジメを手にながら県政について丁寧と説明をする野呂知事。

平成二十二年度の知事トークinキャンパスが十一月四日、伊勢学舎において開かれ、野呂昭彦知事が「将来に希望を持って生きられる社会」と題し講演を行った。

冒頭、県政を県民の人生の舞台つくりと位置付けた野呂知事。めざす社会を実現するには、〈次世代の育成・活動保障・生活保障・絆づくり〉の四つの政策が大切と説いた。そして、現金給付よりも現物給付が充実している国は経済成長も大きく、貧困や格差が小さいという国際比較データを示しながら質の高い公共サービスが欠かせないと強調。現物給付は住民に身近な地方自治が、社会保険などの現金給付は中央政府が担うなどそれぞれの役割をきっちり果たすことが重要と語った。最後に学生へのメッセージとして「希望とは具

体的な何か(something)を行動(action)によって実現(come true)しようとする願望(wish)である」という言葉を紹介し、これを参考に学生にはそれぞれの希望を追求してほしいと締めくくった。

国史学科二年の柴田晃次郎君は「なぜ地域主権が求められるのかよくわかった」と語り、「今日のように知事と直接話することができたのはとても貴重なこと。行政はこうした機会をもっと増やして、学生が県政について発言できる場を提供してほしい」と話していた。

青春の気骨を高唱

三重學士会寮歌祭を開催



肩を組み、青年の頃に返って寮歌を唱和する出席者。会場には手拍子や太鼓の音とともに歌声が響き、大いに盛り上がった。

学生文化の遺産「寮歌」

十月二十九日、本学倉陵会館にて三重學士会寮歌祭(復活第二回)が開催された。

「寮歌」とは一般に旧制高等学校や大学予科の寮生に歌われた歌のこと。学生自身の作詞、作曲によるものがほとんどで、

当日はナンバー校をはじめ北海道から九州まで三十校の卒業生およそ九十名が参加。諸先輩方を偲び行われた「追悼・慰霊祭」の後、会食しながら壇上で母校の寮歌を高々と歌い上げた。

歌詞に気概を込めて

神宮皇學館大学予科一回生で伊勢寮歌祭実行委員長を務めた星田道夫さんは「知る人は少ないが、精華寮歌である『若草萌ゆる』のほか、『銀線の精』という第二寮歌もあった。『銀線』とは



白線帽をかぶり、当時に戻った気分と語る星田さん。寮の仲間といろんな歌を作ったと話していた。

学生帽の白線のこと。学究とは永久の快樂……と歌詞にあり、向学心にあふれる当時の学生の気概をよく表している」と感慨深げ。本学大学院生で祭員を務めた田井健治君は「精華寮に入っていたので、起床時間に流れていた『若草萌ゆる』のメロディーは頭に染み付いている。上白みゆく朝熊山、水静かなる五十鈴川」など歌詞をみると今も変わらない情景が詠み込まれてい



伝統の歌を絶やすことなく、歌い継いでいきたいと話す田井君。

て、歴代の先輩方と同じ光景を眺めていると思うと伝統の重みを感じる」と話していた。

「寮歌を歌うと一瞬で学生時代に戻れる」と語るのとは東京からやって来たという野本ヤス子さんが。参加者は一様に和やかな表情で、旧交を温め



高田明氏

姫路市立姫路高等学校校長

国史学科第九期(昭和四十九年三月)卒業◆姫路市立姫路高等学校に教諭として着任。その後、姫路市教育委員会管理指導主事、姫路市立姫路高等学校教頭、姫路市立琴丘高等学校校長を経て現職。

私は昭和四十五年四月、皇學館大学入学後直ちに弓道部に入部し、その後は昭和四十八年十一月三日の愛知学院大学戦までのほぼ四年間、弓、弓の生活でしたが、気持ちはいくまで、文武両道をめざしていました。

今でも毎年十一月も半ばになると、卒論のことを思い出します。弓に力を注ぎすぎて、やや出遅れ、図書館に行けば学友の卒論が進んでいるのに焦りました。皆さんの中にも、勉強や卒論、そして就職活動の辛さ、苦しさを実感としてひしひしと感じている人もいないのではないのでしょうか。

孔子は、「これを知る者は、これを好む者にしかず(及ばない)、これを好む者はこれを楽しむ者にしかず」と言っています。しかし、この「楽しむ」の先はないのでしょうか。

何かもしんで行えればそれにこしたことはないのですが、何か一つのことを真剣に取り組んだ場合、そこには必ずと言ってよいほど「苦しみ」というものがついてまわるもので、その苦しみの先にこそ「喜び」があります。私は中学・高校・大学という多感な年代の時に、勉強や部活動に青春の血と汗と涙と情熱を注いで、もがき苦しめ、苦しみ抜いたその先に、本当の喜びを得るという体験をしておくことが、何にもまして大切なことだと思っています。

人生の物事の図式は大体「知→好→楽→苦→喜」なのです。後輩の皆さんが「好」や「楽」、ましてや「苦」で止まることなく最後の「喜」をめざして頑張ってください。ことを期待しています。

平成二十二年十一月十八日記

精華寮寮歌 若草萌ゆる

(大正十三年)

作詞/潮 千別
作曲/須川政太郎

- 一、若草萌ゆる倉田山
神世のままだに花も咲く
春繚乱の花の下
神風一過夢さめて
無象の天を仰ぎては
雄心高し紅顔児
- 二、世の喧争を他所にして
理想に進む若人の
思索静けき窓の戸に
蜩群れ飛ぶ夕まぐれ
誰が歌ふなる懐郷の
調は遠く聞ゆなり
- 三、残んの星の影うすれ
楠部の里はさめやらず
上白みゆく朝熊山
その崇高やその勇壮
胸に玲瓏の気はすみで
希望の光ここに湧く
- 四、秋丘陵に月斜め
空山落葉声もなし
灯影も淡く夜は更けて
山田が原の原頭に
雄魂鍛ふ益荒男の
故山に夢は遠く飛ぶ
- 五、ああ熱涙と紅血の
歴史は清く幾千秋
水静かなる五十鈴川
流るる極み永久に
丘上高く精華寮
自治の灯赤し精華寮

2カ月イベント情報

12月

4+

皇學館大学教育講演会

四日市市総合会館

日本のこれから

◆お茶の水女子大学名誉教授 藤原正彦 氏

月例文化講座

伊勢学舎

「神苑会の活動と明治の宇治山田」

◆谷口裕信 国史学科講師

9+

名張の地域文化を語る会

まちなか研究室事務局(名張学舎)

ミニ・シンポ 次代に伝えよう名張文化

◆【コーディネーター】板井正斉 社会福祉学科准教授

11+

週末あそび塾

名張学舎

みんなで凧を作ろう!

◆夢と技の伝承カーバンター 田鍋鉄弥 氏

18+

神道研究所公開学術講演会

伊勢学舎

近世神道史の新視点―重加神道を軸として―

史料編纂所冬セミナー③

伊勢学舎

近代文書を読む ◆田浦雅徳 国史学科教授

月例文化講座

名張学舎

大学教育と地域貢献―名張学舎の13年―

◆宮城洋一郎 社会福祉学科准教授

22+

ちよっとちよっと講義

まちなか研究室事務局(名張学舎)

英語の発想と日本語の発想～私の翻訳体験記～

◆山中優 社会福祉学科准教授

1月

8+

月例文化講座

伊勢学舎

遷宮と昭和の宇治山田

◆田浦雅徳 国史学科教授

23日

皇學館大学ビジネスプランコンテスト

伊勢学舎

公開プレゼンテーション大会

イベントの時間・申込方法等のお問合せは各学舎まで

伊勢学舎 ☎0596-22-0201(代) 名張学舎 ☎0595-61-3351(代)

◆年内最終号をお届けします。皆様として、平成22年はどんな一年でしたでしょうか?◆今回の学生編集ページは、中国人留学生12名が担当しました。全員が三重県と友好関係にある河内省の出身。来日から数カ月、すっかり日本の生活にも慣れたようで、その充実ぶりが窺えました。◆この秋は尖閣諸島問題で日中関係がギクシャクしました。政府の日本青年訪中代表団として、「河南日本週間」へ参加予定であった雅楽部も訪中中止という影響を受けました。このような時だからこそ、草の根交流の充実を願います。【総務課】

編集後記



6月に行われた、現役校長・教頭による模擬集団討論。講師は、伊勢市立城田小学校校長の角屋重敏氏(国史学科第8期卒)。



教職支援室では各種の対策講座や模擬試験を行っている。「できれば1年生の頃から準備を始めてほしい」と話す中村室長。

筆答試験対策の強化を挙げる。専門・教養の門・教養の筆答試験対策は参考書も多く各自独自にそれなりに頑張っておりませんが、小論文や面接対策はなかなか難しいのではないかと思います。小論文で出されるテーマは、個人面接や集団面接で問われる質問と似通っています。つまり小論文対策をやっておけば、自ずと面接をはじめ

公立学校教員採用試験

49名が現役合格

去年の1.5倍と躍進

今年度は三重県、とくに小学校での奮闘が目立った。県内小学校における現役合格者は二十一名。卒業生の合格者三十三名をあわせると、計五十四名が合格している。中高合格者は現役二名、卒業生十二名に上った。県外については十一月末日現在判明しているだけで二十六名の現役合格者を輩出するなど、活躍の範囲は一都・二府・七県・三市に広がる。

平成二十二年度公立学校教員採用試験の結果が公表され、本学からは四十九名が現役合格という実り多い年となった。昨年に比べおよそ一・五倍と躍進しており、年々着実に合格者数を増やしている。

二重県内で合格者多数

さまざまな試験に活用できるといふこと。教職支援室では小論文の課題を五十から七十ほど用意し、月に一本でもいいので一年生のうちから取り組んでおくことを勧めています。書いた論文文は教職アドバイザーが丁寧

小論文対策が功を奏す

現役合格者が昨年の一・五倍と大躍進をみせた背景について、教職支援室の中村正昭室長は小論文対策の強化を挙げる。専門・教養の筆答試験対策は参考書も多く各自独自にそれなりに頑張っておりませんが、小論文や面接対策はなかなか難しいのではないかと思います。小論文で出されるテーマは、個人面接や集団面接で問われる質問と似通っています。つまり小論文対策をやっておけば、自ずと面接をはじめ

多彩な経験を積もう

また、選考方法が多様化しているとはいえ、依然として面接重視(＝人物重視)の傾向は変わらない。この点について中村室長は「経験に基づいた説得力のある回答ができるか、がポイントである」と指摘する。「合格者を見てみると、一・二年生の時から教育ボランティアに参加するなど現場を経験している人が圧倒的に多いですね。実体験から生まれる言葉はそれだけ重み、深みが増しますから」。加えて、ただ漫然と経験値を積むのではなく、〈教員になる〉と

公立学校 教員採用選考試験 2次合格状況	
平成22年度	49名
高等学校	
三重県(国語)	1名
中学校	
三重県(国語)	1名
神奈川県(国語)	1名
小学校	
三重県	21名
千葉県	1名
神奈川県	6名
埼玉県	1名
愛知県	4名
滋賀県	1名
京都府	2名
京都市	1名
堺市	1名
兵庫県	2名
岡山市	1名
東京都	1名
大阪府	4名

合格した姿をイメージ

国史学科 中田 貴士

(神奈川県 中学国語)

僕がまずしたのは合格通知を手にして喜んで自分の自分を想像したこと。教職に合格した先輩に教えてもらったイメージトレーニングです。本格的に取り組んだのが三年生の一月と遅かった僕は毎日七時間は勉強していま

教職を希望する人はさまざまなことに積極的にトライしてほしいと思います。バイトやボランティアなど、経験の多さと比例して視野が広がりますから。あきらめず、自分の道を突き進んでください。

合格体験記

教育学科 向井 香穂

(三重県・神奈川県 小学校)

わたしの場合、モチベーションが下がらないように同じ教員をめざす友達と切磋琢磨したのが良かったと思います。一緒に勉強したり励ましあったり、仲間がいたからこそ頑張れました。夜食を作ってくれるなど温かく見守ってくれた家族の存在も大きかったですね。

小論文の添削指導もとても役に立ちました。小論文では教育指導要領に関する知識や自分なりの考えが問われます。最初はうまく書けなかったのですが、添削していただくうちに文の組み立て方や自分の考えをまとめる練習になりました。面接対策としてのおすすめですよ。教職をめざす人はぜひ教職支援室を活用して、試験に備えてほしいと思います。

仲間の存在が支えに

教育学科 向井 香穂

(三重県・神奈川県 小学校)

わたしの場合、モチベーションが下がらないように同じ教員をめざす友達と切磋琢磨したのが良かったと思います。一緒に勉強したり励ましあったり、仲間がいたからこそ頑張れました。夜食を作ってくれるなど温かく見守ってくれた家族の存在も大きかったですね。

小論文の添削指導もとても役に立ちました。小論文では教育指導要領に関する知識や自分なりの考えが問われます。最初はうまく書けなかったのですが、添削していただくうちに文の組み立て方や自分の考えをまとめる練習になりました。面接対策としてのおすすめですよ。教職をめざす人はぜひ教職支援室を活用して、試験に備えてほしいと思います。

平成23年度

学部・大学院・専攻科

入試日程

入試に関する詳細は、ホームページまたは募集要項をご覧ください。

皇學館大学 入学試験課

〒516-8555
三重県伊勢市神田久志本町1704
☎0596-22-6316
[E-mail] nyusi@kogakkan-u.ac.jp
http://www.kogakkan-u.ac.jp

試 験 種 別		学 部		出 願 期 間	試 験 日	合格発表	会 場
前期	1/29・30 ● 3 科目型（マーク方式）	文・教育・現代日本社会		H23年 1 月 6 日(木)～24日(月)	1 月29日(土)	2 月10日(木)	伊勢 名張 四日市 東京 浜松 名古屋 大阪 神戸 福岡
	1/29・30 ● 2 科目型（マーク方式）						
	1/29 ● 2 科目＋センター						
	1/30 ● 2 科目＋センター						
	得意科目 2 科目型（マーク方式）						
後期	得意科目 2 科目型（マーク方式）			2 月14日(月)～22日(火)	2 月26日(土)	3 月 4 日(金)	伊勢 名古屋 大阪
センター試験利用	前 期	3 科目型	教育・現代日本社会	1 月 6 日(木)～14日(金)	個別学力検査等 は行いません。	2 月10日(木)	/
		2 科目型	文	1 月 6 日(木)～24日(月)			
	中 期	3 科目型	教育・現代日本社会	2 月14日(月)～22日(火)		3 月 4 日(金)	
		2 科目型	文				
	後 期	3 科目型	教育・現代日本社会	3 月 4 日(金)～11日(金)		3 月17日(木)	
		2 科目型	文				
館 友 推 薦（後期）			文・教育・現代日本社会	3 月 4 日(金)～11日(金)	3 月14日(月)	3 月17日(木)	伊勢

試 験 種 別			出 願 期 間	試 験 日	合格発表	会 場
大学院 文学研究科	博士前期・修士 （神・文・史・教）	2 次	2 月14日(月)～25日(金)	3 月 8 日(火)	3 月 9 日(水)	伊勢
	博士後期（神・文・史）					

試 験 種 別		出 願 期 間	試 験 日	合格発表	会 場	
神 道 学 専 攻 科		2 次	1 月24日(月)～ 2 月 4 日(金)	2 月14日(月)	2 月15日(火)	伊勢